

2013年度 事業報告

1. 総会・役員会・委員会の活動

① 総会の開催

2013年度総会 5月20日（月） 大阪市社会福祉センター

② 役員会の開催 8月12日（月） 1月28日（火）

③ 施設長会の開催 10月3日（木） 2月12日（水）

④ 各種委員会の開催

- ◆ 企画委員会 事業等の企画・運営・調整
- ◆ 拡大企画委員会 事業等の企画・運営
- ◆ 研修委員会 各種分野別研修会等の計画・実施
 - ① 地域のお年寄り研究会
 - ② セツルメント研究会
 - ③ 地域の障がい児・者研究会
 - ④ 地域の子ども研究会
 - ⑤ 卓球指導者研修会
 - ⑥ 地域の子育て支援研究会
- ◆ 自然体験施設事業委員会
 - ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
 - ②奈良県東吉野村 山の家の運営と活動
 - ワークキャンプ活動（小・中・高生）

《 特別委員会 》

- ◆ バザー実行委員会 第15回自然体験施設応援バザーの企画・運営
- ◆ 全国研修会準備委員会 日地協主催 第18回全国地域福祉施設研修会東京大会
- ◆ 全国児童部会準備委員会 日地協主催 第12回全国地域福祉施設研修会児童部会

2. 年間行事と主な出来事

4～11月	奈良県東吉野村山の家ワークキャンプ活動	東吉野村山の家
4～10月	奈良県東吉野村 山を家の利用	東吉野村山の家
5月20日	大阪市地域福祉施設協議会総会	市社会福祉センター
25日	第28回 ともだちドッジボール大会	長 居 小
7月19～20日	第55回 大都市社会福祉施設協議会	神 戸 市
7～8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月22～23日	第12回 全国地域福祉施設研修会児童部会	大 地 協
11月 2日	第43回 ともだち運動会	都島中央グランド
1月18日	第19回 こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
1月26日	第15回 自然体験施設応援バザー	育徳園保育所
1月28日	新年会	吾作どん(西田辺店)
2月14～15日	第18回 全国地域福祉施設研修会	神戸(賀川記念館)
3月 1日	春のあそび王国(室内あそび)	長居小学校

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

① 施設整備

- ・ 本棟屋根改修工事
- ・ 本棟基礎改修工事
- ・ 別棟屋根改修工事
- ・ トイレ改修工事
- ・ 本棟電気配線改修工事
- ・ 本棟縁側網戸・雨戸改修工事

②年間事業

- ・ 4月 9日 セツルの家改修工事打ち合わせ セツルの家
- ・ 5月14日 セツルの家利用打ち合わせ会 長居保育園
- ・ 6月 4日 セツルの家改修工事完成 セツルの家
- ・ 6月 9日 セツルの家ワークキャンプ セツルの家
- ・ 7月 5日 セツルの家開設準備 セツルの家
- ・ 7月～8月 セツルの家夏季利用 セツルの家
- ・ 8月 9日 セツルの家消防訓練（平和の子どもの家） セツルの家
- ・ 9月 6日 セツルの家夏季利用片付け セツルの家
- ・ 9月～3月 セツルの家夏季外利用 セツルの家

③利用施設

23施設

④利用泊数

- ・ 44泊、日帰り 1日

利用延べ人数	2723人
内訳 幼児・児童	2011人（障がい児 91人）
ボランティア・保護者	328人
職員	384人

⑤利用施設からのアンケート

- ・ トイレの汚水槽からの悪臭がある
- ・ 別棟・倉庫付近でスズメ蜂を見かける
- ・ 別棟前（浜側）階段の最下段が破損する
- ・ 本棟台所の冷蔵庫の裏に換気扇があれば室温が下がるか
- ・ 火災報知器センサーの誤作動がある
- ・ 本棟の壁掛け扇風機が首振らない
- ・ 本棟の置型扇風機の破損がある
- ・ 年々、セツルの家がきれいになって有難い

⑥担当

宮川・竹内（長居保育園）

4. 東吉野村. 山の家の運営と活動

① 山の家利用実績

2013年度東吉野村 山の家利用報告(2013年 4月 1日～2014年 3月 31日)									
日 付	利用者	利用形態	日数	利 用 内 訳				計	利用料金
				小未満	小学生	中高生	大人		
4月 28～29 日	個人	1泊2日	2	0	1	1	4	6	8,600
7月 13 日	団体	日帰り	1	0	9	0	11	20	4,000
8月 3～4 日	個人	1泊2日	2	0	7	0	2	9	9,000
8月 10～11 日	個人	1泊2日	2	3	2	0	6	11	9,100
8月 11～12 日	個人	1泊2日	2	0	0	1	3	4	9,000
8月 15～16 日	個人	1泊2日	2	2	3	0	2	7	8,900
8月 23 日	個人	1泊2日	2	0	9	0	3	12	10,800
10月 12 日	団体	日帰り	1	1	10	6	3	20	4,000
10月 13～14 日	個人	1泊2日	2	0	0	0	6	6	8,600
合 計			16	6	41	8	40	95	72,000

山の家事務局 多賀井 潤一郎

5. 自然体験施設応援バザー

① 第15回自然体験施設応援バザー

いくととくやで いくとくバザール

- 1、主催 社会福祉法人 育徳園
NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会
- 2、日時 平成26年1月26日(日) 午前11時~午後3時
- 3、場所 育徳園保育所・育徳コミュニティーセンター
- 4、収益 1,137,841円
- 5、参加者 来客 約2,000名
スタッフ 約300名(学生ボランティア36名を含む)
- 6、内容 飲食店舗 14店(売上41万円)
バザー (売上36万円)
遊びコーナー 6店(売上7万円)
オークション (売上18万円)
その他 (売上11万円)
- 7、特色
 - ・ イベント舞台を設置して、様々な方から提供していただいた物品の一部でオークションを実施した。また、大型魚の解体ショーと実演販売も実施した。
 - ・ イベント舞台を利用して、地元の吹奏楽団にオープニングをはじめ数曲披露していただいた⇒ボランティア参加
 - ・ 例年通りの東吉野物産店に加え、東日本復興支援として気仙沼物産店を開き、好評のうちに早い時間に完売した⇒阿倍野区社会福祉協議会の協力
 - ・ 地域団体や小学校をはじめ、地域住民の皆さんの温かいご協力とご支援で無事に終えることができた。また学生やOBの活躍がイベントを盛り上げてくれた
- 9、反省等
 - ・ 結果的に予想以上の収益があったが、今後もイベントをツールとした大地協の結束力の強化や、開催地での地域との交流の足掛かりとすることを第1の目標にすることが重要。
 - ・ 開催施設の負担軽減を念頭に、開催地に見合った運営をすることも肝要。
 - ・ バザー物品の残り品の取り扱いを、事前にもっと十分に検討しておく必要がある。

6. ワークキャンプ

① 活動報告

○ワークキャンプ全5回

(山の家3回 / セツルの家1回)

・その他、地域の子ども研究会が企画した合同遠足での大阪ワーク1回

日程	内容	参加施設数	車両	参加人数		
				学生	大人職員	合計
5月12日	山の家	4	マイクロ 0台 ワゴン 3台	8	5	13
6月 9日	セツルの家	13	マイクロ 1台 ワゴン 1台	0	37	37
7月 7日	リパートレッキング	7	マイクロ 1台 ワゴン 2台	44	15	59
10月27日	五右衛門風呂移送	4	マイクロ 0台 ワゴン 2台	0	4	4
11月17日	バザー用丸太収集 冬支度	3	ワゴン 2台	6	3	9
合 計				58	64	122

総 数 122名

【山の家ワークキャンプ】5月12日実施

山の家と周辺の清掃・修繕箇所の確認を行う。皆で昼食を作ることで、初めは緊張していた子どもたちの表情も和らぎ、楽しく過ごしていた。

【セツルワーク】6月9日実施

大規模改修が無事に終わり、各施設の職員が集まりセツルの家の引っ越し作業を行った。初めは何もなくガランとしていた屋内が、荷物を運びこむといつものセツルの家。それぞれが夏の利用に向けて、期待に胸を膨らませていた。

【リパートレッキング】7月7日実施

毎年子どもたちに人気の活動ということで、子どもたちは朝からとても楽しみにしている様子だった。川の水は心地よく、途中で魚や虫を見つけたり、岩場を滑り台のように滑ったりと、夏の自然を満喫した。

【五右衛門風呂移送】10月27日実施

山を家の風呂作りに向けて、セツルの家の風呂釜を移送した。

【バザー用丸太収集・冬支度】 11月17日実施

自然体験施設応援バザーの自然体験企画“丸太切り”用の丸太収集と冬支度を行う。子どもの参加人数は少なかったが、今年度のワークキャンプを通して顔見知りになったメンバーだったので、和やかな雰囲気作業を進めることができた。

② ワークキャンプ会計報告

収入	250,000円	(年間予算)
	26,000円	(参加費)
支出	123,407円	(交通費・食費・雑費・備品代・活動費・材料費など)
残高	152,593円	

7. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第12回 児童部会

- ◆ 日 程 2013年9月22日(日)～23日(祝)
- ◆ 開催場所 育徳園保育所(1日目)、愛染橋保育園(2日目)
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
NPO 大阪市地域福祉施設協議会

② 2013年度 第18回 全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2014年2月14日(金)～15日(土)
- ◆ 開催場所 賀川記念館、コムスタこうべ
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉推進協会
NPO 大阪市地域福祉施設協議会
- ◆ 共 催 社会福祉法人 賀川記念館

③ 大地協全体研修会

- ◆ 日 程 201~~3~~³年 9月 4日(金)
- ◆ 開催場所 大阪市社会福祉センター
- ◆ テ ー マ 心と心を通わせる人と人との関わり
～認知症の人とのコミュニケーションから学ぶ～
- ◆ 講 師 高落(たかむら)敬子氏
- ◆ 参加者 大地協関係者48名をはじめ、非会員51名 合計99名

8. 各種分野別研修会

I. 地域の子育て支援研究会

① 年間の活動方針とねらい

テーマ：「人に関わる・人に寄り添う・違いを受け止める」

目的：子どもを取り巻く生活環境の変化（家庭内のコミュニケーション不足や虐待など）や子育てに不安感を抱く保護者の増加など様々な問題を取りあげ、『一人一人の子どもの育ちを大切にするためには、また保護者の気持ちに寄り添い、思いを受け止めるにはどのように関わり、援助すれば良いのかを考える』を目的に、研究と研修の2つの形態で活動を進める。

② 活動報告

○自主勉強会 5/16（木）

エピソード記述を行う。日常の保育現場の中で、気になった場面、心に残った場面をエピソードとして記述し、代表1名のエピソードを基にファシリテーターが質問していき、記述者が答えていくことによるそのときの本当の思いや思考など記述者自身が気づき自己開示していく。

○障がい児者研究会とのコラボ企画 6/25（火）

「集団に入りづらい子ども」という設定のロールプレイを通して障がい児や保育者それぞれの立場の気持ちを考え、グループディスカッションを行った。

○愛と勇気づけの親子関係セミナー「SMILE」 9/9（月）

講師の大井愛美さんをお呼びでの研究会を行う。自己肯定感、自立心、貢献心を育む子育て法を学ぶ。「勇気づけ＝困難を克服する活力を与えること」。勇気を持って前向きな人生を歩む方法を学ぶ。

○子ども・子育て支援新制度についての研究会 3/7（金）

2015年から施行される子ども・子育て支援新制度の概要について勉強会を行った。

③ 評価・反省・課題

今年度は、障がい児・者研究会との共催で研修会を開催したり、エピソード研修を実施した。保育の中での一場面を取りあげ、自分の気持ちに気づき、そして相手の気持ちを理解して援助のあり方を考えるということを重点に、テーマをより深く検証した。現場の保育士のニーズが把握できず研修内容を決めにくかったため、保育士のニーズを把握する取り組みをしていきたい。

II. 地域の子ども研究会

① 年間テーマ・ねらい

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」

② 活動 4 本の柱

1. 子どもたちとの活動【合同行事の実施】

合同行事を通じ、他施設との交流、地域の子どもたちとの交流から生まれる子どもたちの出会いとふれあいを得たいと考え実施した。

2013 年度は、土曜日授業開始を視野に入れ、行事開催も臨機応変な対応が必要となり、今までのねらいや役割を再確認しながらも新しい視点を持ち、社会情勢や子どもたちのニーズに合った活動となっているのかを見つめ直していきたいと考えていたが、研究会スタッフの入れ替わりがあり、今までの諸先輩方から大切に継承されてきた行事や研修会に対する理念を理解しないまま見直していく事は難しく感じた。

そこで年度当初に行事や研修について【継続】して実施するが次年度に向けて【今までのねらいや役割・時代に合ったものか・今の子どもたちに必要な物となりえているのかを再確認していくと共に、日常の活動とのつながり・施設のねらいを考えていく】とした。

企画する上では、幅広い層の人たちがともに集える場所となることを目指し、学童期から中高生へと連続した関わりの中で、充実した活動となるよう取り組んだ。

2013 年度合同行事を見直す中で各それぞれのねらいが明確化し、踏まえた上でも子どもたちの【豊かな生活・成長】にとって必要なものを感じたとの振り返りである。

【下記参照】

		2013 年度
ドッジボール大会	ねらい	行事に向けて子どもたちの勝ちたい気持ちにより添い、施設内で仲間作りの良きツールとして取り入れます。 当日のねらいそれぞれの活躍の場となり、他施設との触れ合いの場となる事を目指します。
	開催時期	2013 年 5 月 25 日（土）1 日開催
	参加人数	10 施設 507 名
	方法	午前…予選リーグの実施 午後…勝者・敗者共にトーナメント
ともだち運動会	ねらい	・子どもや保護者、職員、会場に来た人全員が笑顔で楽しむ。 ・一つのことを仲間と協力して取り組み、活動を通して他施設を知り、自施設を知ってもらう。
	開催時期	2013 年 11 月 2 日（土）1 日開催
	参加人数	11 施設 692 名
	方法	各学年・異年齢・全体の競技 施設パフォーマンス実施 Kスタッフの運営参加・子ども会議 施設旗作り

将棋大会	ねらい	伝統文化を通して礼節を学び、子どもたちが日頃の成果を発揮する場
	開催時期	2014年1月18日(土)1日開催
	参加人数	8施設 58名
	方法	名人・金・銀とレベル別を実施 午後勝者トーナメント・と金リーグ 団体戦・多面指し・動物将棋・クイズ
あそび王国	ねらい	より多くの遊びとの出会い・体験 他施設との交流 けん玉に出ない子も楽しめる様な行事を目指す
	開催時期	2014年3月1日(土)AM開催
	参加人数	11施設 187名
	方法	遊びコーナー・段技名人戦・施設対抗戦・イベントの企画
合同遠足	ねらい	自然体験を取り入れワークに参加出来ない子ども達の経験に。 中高生での活動を視野に入れ参加に向けての基礎作り WCの意味の周知
	開催時期	6月22日(土)・29日(土) 10月19日(土)
	方法	公園内の清掃活動 他施設との交流

大地協バザー (中高生活動)	ねらい	中高生の活躍の場・居場所作りのきっかけに 地域の方々に中高生活動を知ってもらう
	開催時期	12月8日(会議)1月18日(Tシャツ)1月26日(バザー当日)
	方法	OB・OG会議、Tシャツ作り 当日ブース担当

2、情報交換

学童期の子どもたちと関わる指導員同士、日々の現場での悩みなどをケース検討という形で共有し、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるように実施した。

また、社会情勢や大阪市政改革などの動きを敏感に取り入れて発信し、共有していく。

情報交換	担当者(固定)がテーマ設定。事前に伝えておき施設職員と内容確認の後情報交換を実施。(遊びやおやつ、保護者会など)記録は担当者が行ない、翌週全員に配布・共有
ケース検討	担当者を決め、ケース内容・討議方法など担当者に一任。記録が必要な場合はその場で書記を決め行う。

3、研修活動【研修会の在り方の変革・他研究会との連携したコラボ研修の実施】

例年実施してきた研修会のねらいや役割を整理し、個々の学びや加盟施設職員のスキルアップにもつながる研修会を目指し、実施内容の検討を行った。

また、他の研究会と連携した研修会に参加し、地域の子ども研究会としての視野を広め、学びを深めるべく、各研究会の方々と専門分野を越えた横のつながりをもち、合同研修を通じて新たな気付きや取り組みの方法を見つけたい。

○遊び研修（ファイア研修） 時期：1学期	ファイアは前年までのDVDがあるので貸し出しを行う。 「雨の日の集団あそび」や「室内でも体を動かすプログラム」を実施
○児童部会	多様化する子どもの世界～子ども達の実態に迫る～ 岡本 栄一氏、大方 美香氏の講演 研究活動に沿った分科会の実施
○卓球指導者研修会 時期：1学期	指導者向けの研修内容を講師の方に依頼し実施
○合同研修会 時期：2学期（3学期は行事も重なり難しい）	障がい児者研究会とのコラボ研修 「障がいを持つ子どもに関わる職員の座談会」

4、研究活動【心の育ちに必要な支えとは】

2012年度『心の育ちに必要な支えとは』というテーマで3・4年生を対象に研究を行った。2013年度は連続した心の育ちを視野に入れ、1・2年生、5・6年生へと対象を広げて実施した。

活動は、全体テーマに関連したいくつかの視点ごとにグループに分かれ、それぞれの内容を共有する意識を持ちながら進め、研究活動で得たことを、児童部会や全国研修などの研修会へと繋ぎ、広い視野のもと研究活動の意義と新たな課題を確認したいと考えた。

方法	人数…5人で丁度良かったように感じる。これ以上増えるとまとめるのに大変だと思う。 昨年度の大きいグループの中で、更に3人3チームに分かれた方法は、進めやすかった。 全員で進め、その中でチームに分かれて研究ができた。
----	---

Ⅲ 地域の障がい児・者研究会

① 活動の基本方針

「地域の中で暮らしていくうえでの問題とは何か明確にする」・・・発見

「地域の中で暮らしていくうえではどのような支援が必要なのかを明確にする」・・・実践

「共に学び、共に語る」・・・対等

② 年間のねらい

- ・ 障がいのある子どもの保護者同士が気軽に集まり、話ができる機会を継続して提供し、情報交換や相互支援の場を企画していく。
- ・ 個別の配慮が必要な子どもや家族と関わる施設職員が問題を共有する場を作り、支援の仕方や関わり方を共に学んでいく。
個別の配慮が必要な子どもや家族の事例を研究し、支援の仕方だけでなく、なぜこのような問題が起こるのかを探っていく。その中で地域福祉施設として、何ができるのかを明確にしていく。
- ・ 大地協加盟施設職員や関係者だけでなく、様々な立場の人達と積極的に関わりを持ち、仲間を増やし、視野を広げていく。

③ 活動報告

(1) 研究会

- ・ 第1回 5/7 今年度の研修等の日程と内容の検討ほか
(5/30 子育て支援研究会との合同打ち合わせ会を実施)
- ・ 第2回 6/4 子育て支援研究会とのコラボ研修会について
研修…ファシリテーターの役割
- ・ 第3回 9/24 西区社協での座談会について
研修…ロジカルシンキング
- ・ 第4回 10/22 座談会について
障がい児・者研究会 研修会について
研修…障がい児の進路 障がい者と刑務所
- ・ 第5回 11/26 座談会の最終確認 職員座談会(仮)について
研修…要対協～様々な子育て支援プログラム
- ・ 第6回 2/7 支援者座談会について

(2)座談会

○保護者対象座談会

「障がいのある子どもたちの居場所について考える」

日 時：2013年11月30日（土）

会 場：西区社会福祉協議会にて

参加保護者：3名

○支援者対象座談会

日 時：2014年2月21日（金）

会 場：育徳園 幸分ホールにて

参加者：9施設 24名参加

(3)コラボ研修会

「集団に入りづらい子どもとの関わり」

日 時：2013年6月25日（火）

会 場：愛染橋保育園

参加者：10施設 40名参加

④まとめ

- ・ コラボ研修会は保育の場面を具体的に取り上げる内容で、参加者しやすかったと思う。
- ・ 保護者対象の座談会については改めて、その目的と方法を見直したい。
- ・ 支援者座談会は今後も様々なステージで子どもと関わる人同士がつながる場所としていきたい。

IV. セツルメント研究会

①年間のねらい

日本の社会は福祉問題を縦割りによる合理的な方法で解決しようと取り組んできました。しかし、福祉課題は地域で生まれ、地域に定着していきます。地域が福祉ニーズの「発生場」であるならそこを「解決場」「予防場」となるために地域福祉の源流である『セツルメントの発想』を持ち、現在の社会問題から私たち地域福祉施設・職員の役割を考えていきたいと思っております。

②活動報告

- ・ 研修会を行う事ができなかった。

V. 地域のお年寄り研究会

①テーマ、ねらい

- ・ 職員のスキルアップを行うことにより、施設自体の質の底上げを行い、地域に目を向けていく大切さを理解する。
- ・ 研究会で話し合ったことを自施設に持ち帰り、業務に活かす。
- ・ 2年前から実施している地域の子育て支援研究会との合同開催を継続しお互いのことを知る中で、高齢者への介護から家族支援という視点を広げていく。
- ・ テーマを決めての事例研修(虐待・孤独について)
- ・ 昨年度から引き続き認知症についての研修会(講演会)を開催し、認知症に関する理解、接し方を学ぶ。

②活動報告

日程	開催場所	テーマ
7月18日(木)	いくとくII	金銭的虐待による事例検討会

※11月に開催予定であった老老介護の事例検討会は参加人数少ないため、中止。

③年間のまとめ、課題

参加できる施設が実質3施設となり、研究会担当者で集まり、今後の予定について見直し、話し合った。その中で課題として現在の参加施設・人数では、できることが限られているため、新たな加盟施設勧誘も含め、まず各施設興味のある内容で研修を行うことになった。講師による講演会は、日程が合わず開催できなかったが、各施設の事例検討会はとても勉強になり、好評であった。次年度に向けて参加施設、人数を増やし、内容の濃い研修会をできるようにしたい。

VI. 卓球研修会

① 活動方針・ねらい

卓球指導者研究会は、“大阪市子ども卓球大会の開催”と“卓球指導者研修会の実施”を行う。

大阪市子ども卓球大会では、卓球を始めたばかりの子から、全国大会上位入賞を目標とする子どもたちまでが、それぞれレベルにあった試合や練習ができる大会運営を行う。また、大阪市地域福祉施設協議会加盟施設以外の卓球チーム等に積極的に参加を呼び掛ける。大会では、卓球を通じた交流の場となり、夢や目標を持った子どもたちの活躍の場となるように目指す。

卓球指導者研修会では、講師を招いた実技研修を行う。内容は、基本的なものから日々の練習で実践できる練習方法等を学ぶ。研修に参加することで、施設での練習方法を見直し、工夫した練習方法を知り、子どもたちがより卓球を楽しみ、取り組みやすくなるようにする。

② 具体的な活動報告

○卓球大会の実施

日程	大会	会場
2014年3月2日(日)	第62回 大阪市子ども卓球大会	大阪市立昭和中学校 体育館

○卓球指導者研修会

日時：2013年12月6日(金) 10:00～12:00

場所：今池こどもの家

講師：寺田 憲治氏

(ご自身も卓球で活躍され、現在はT's ZERO+にて子どもたちに卓球を広める活動をされています)

③ 振り返り

- ・ 大阪市子ども卓球大会では、会場の確保が難しくなっている課題があるが昭和中学校のご厚意により開催できた。大会では、子どもたちが1年を通じて練習を積み重ねてきた成果を発揮する機会となった。特に低学年や初めての対外試合の児童にとっては、上手な子どもを見ることも刺激となった。
- ・ 卓球指導者研修会では、各参加者が卓球指導で困っていることや卓球をする環境等を出し合い、参加者の学びたいことに沿って講師の先生よりご指導頂けた。基礎的な練習方法の振り返りから、新作の練習方法等も教えて頂き、たくさんの学びがある機会となった。今後も幅広く参加を呼び掛け、活気ある研修会にしていきたい。

9. 職員厚生部

① 活動報告

- ・ 10月1日(火) 企画委員 親睦会
- ・ 12月2日(月) 平成25年を振り返る会 12施設 46名、永岡会長が参加
- ・ 1月28日(火) 新年会 16施設 29名、個人会員3名
(吾作どん 西田辺店) 合計32名が参加

② 反省・課題

- ・ 今年度は活動機会が少なかった
- ・ 平成25年を振り返る会は、特別養護老人ホームいくとくで開催した。施設を知る機会にもなったので次回も引き続き実施したい。

10. 広報宣伝部

① ねらい テーマ

- ・ ホームページ、大地協通信を中心に、各研究会・研修会などの大地協の取り組みを、活動に協力・賛同いただいている方々(加盟会員、自然体験施設の協力会員等)に報告する。

② 活動報告

(1) 特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 ホームページ運営

○ホームページアドレス <http://daichikyo.web.fc2.com/>

(2) 大地協通信の発行

- ・ 毎月25日発行を目標とするが、発行できない月もあった。

(3) 通信手段

- ・ これまで通信の手段を FAX で行ってきたが、段取り、経費面から、メールでの送信へと切り替えを行っている。

2013年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会

2013年 4月 1日 から 2014年 3月 31日 (単位 円)

収入の部

科 目	決算額	予算額		備 考
1 会費収入	597,000	645,000	△ 48,000	
① 正会員会費収入	570,000	600,000	△ 30,000	15,000×38施設
② 賛助会員会費収入	27,000	45,000	△ 18,000	個人8、賛助1
2 事業収入	5,410,162	5,600,000	△ 189,838	
① 調査研究・研修事業収入	51,000	100,000	△ 49,000	参加費(お年寄り研究会学習会)
② まちづくり事業収入	0	0	0	
③ スポーツ文化的事業収入	209,770	250,000	△ 40,230	ともだちドッジボール大会、ともだち運動会 子ども将棋大会、春のあそび王国等
④ 自然体験事業収入	5,149,392	5,200,000	△ 50,608	バザー収益 1,137,841 びわこセツルの家 3,833,500 山の家98,051 毎日新聞より80,000
⑤ 小中高生の生活体験事業収入	0	50,000	△ 50,000	
3 寄附金収入	4,828,903	4,500,000	328,903	自然体験施設への指定寄付 善意銀行300,000 本部へ寄付20,000
4 雑収入	207,563	200,500	7,063	
① 受取利息	563	500	63	
② 雑収入	207,000	200,000	7,000	忘年会、新年会等参加費
5 前年度繰越金	7,778,485	7,778,485	0	
収入合計	18,822,113	18,803,985	18,128	

支出の部

科 目	決算額	予算額		備 考
1 管理費	260,923	267,500	△ 6,577	
① 事務費	114,499	100,000	14,499	振込手数料等
② 会議費	86,424	70,000	16,424	役員会、企画委員会、打ち上げ補助等
③ 会 費	60,000	97,500	△ 37,500	大阪市施設協
2 事業費	13,192,877	14,000,000	△ 807,123	
① 調査研究・研修事業費	32,164	100,000	△ 67,836	各研究会講師料等
② まちづくり事業費	0	0	0	
③ スポーツ文化的事業費	235,126	300,000	△ 64,874	収入2-③欄参考
④ 自然体験事業費	12,925,587	13,400,000	△ 474,413	びわこセツルの家11,944,945 東吉野村山の家 980,642
⑤ 小中高生の生活体験事業費	0	200,000	△ 200,000	
3 雑 費	230,376	300,000	△ 69,624	新年会、お祝い、弔電、 日地協事務局長会議交通費等
4 予備費	0	50,000	△ 50,000	
5 次期繰越金	5,137,937	4,186,485	951,452	
支出合計	18,822,113	18,803,985	18,128	

2013年度 自然体験施設事業 決算内訳

収入の部

項目	セツルの家	山の家	毎日新聞 助成金	バザー	総合計
利用料収入	3,831,900	72,000			3,903,900
寄付金	4,808,903				4,808,903
その他収入		26,000 (W.C参加費)	80,000	1,137,841	1,243,841
雑収入(公衆電話・利息等)	1,600	51			1,651
合計	8,642,403	98,051	80,000	1,137,841	9,958,295

支出の部

項目	セツルの家	山の家	合計	備考
事務費	20,400	1,428	21,828	
管理費	120,000	120,000	240,000	
バス借料	1,787,676		1,787,676	
備品・寝具	168,129		168,129	
修繕費	9,251,890	418,900	9,670,790	
保険料	18,720	25,490	44,210	
光熱水費(電話)	360,378	91,417	451,795	
雑費	125,652	0	125,652	
固定資産税等	92,100		92,100	
平野区自治会協力費		50,000	50,000	
借地賃貸料		150,000	150,000	
ワークキャンプ経費		123,407	123,407	
合計	11,944,945	980,642	12,925,587	

自然体験事業総収入	9,958,295
自然体験事業総支出	11,944,945
差額	-1,986,650

寄付金総額(2012年度～2013年度)

総額 8,894,503円

個人 5名

団体 23

その他(善意銀行)

前年度計上分 4,185,700円

会長 永岡 正己 様


NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会の監査結果について

帳簿、領収書等精査した結果、適正に処理されていることを確認いたしましたことをご報告いたします。


2014年5月13日（火）

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

監事

戸田 正三 

監事

篠瀬 奥千代 

2014年度事業計画（案）

1. 総会、役員会、委員会の活動

① 総会の開催

2014年度総会 5月26日（月）都島児童センター

② 役員会の開催 （随時）

③ 施設長会の開催 （随時）

④ 各種委員会の開催

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| ◆ 企画委員会 | 事業等の企画・運営・調整 |
| ◆ 拡大企画委員会 | 事業等の企画・運営 |
| ◆ 研修委員会 | ・各種分野別研修会等の計画・実施 |
| | ① 地域のお年寄り研究会 |
| | ② セツルメント研究会 |
| | ③ 地域の障がい児・者研究会 |
| | ④ 地域の子ども研究会 |
| | ⑤ 卓球指導者研修会 |
| | ⑥ 地域の子育て支援研究会 |
| ◆ 自然体験施設事業委員会 | ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動 |
| | ②奈良県東吉野村 山の家 <small>の</small> 運営と活動 |
| | ワークキャンプ活動（小・中・高生） |
| | ③びわこセツルの家改修工事 |
| 《 特別委員会 》 | |
| ◆ バザー実行委員会 | 第16回自然体験施設応援バザーの企画・運営 |
| ◆ 全国研修会準備委員会 | 日地協主催 第19回全国地域福祉施設研修会大阪大会 |
| ◆ 全国児童部会準備委員会 | 日地協主催 第13回全国地域福祉施設研修会児童部会 |

